

明治大学との共同研究によるインタラクティブな化粧品パッケージ開発 ～スマートフォンと組み合わせるメイク支援システム～

朝日印刷株式会社

インタラクティブな化粧品パッケージを開発 ～スマートフォンと組み合わせるメイク支援システム～

朝日印刷はこの度、明治大学総合数理学部先端メディアサイエンス学科の宮下芳明教授と先端数理科学研究科博士後期課程 3 年生の加藤邦拓氏の協力の下、インタラクティブ(双方向型)な化粧品パッケージを開発しました。今後、本研究の成果を踏まえ、パッケージの製品化を進めてまいります。

本研究では、宮下教授と加藤氏の研究成果である ExtensionSticker 技術(※1)を応用し、スマートフォンと組み合わせることで、メイク支援システムとして使用できる化粧品パッケージを開発しました。今回開発したのは、「化粧鏡パッケージ」、「透過スクリーンを用いたネイルアートパッケージ」の 2 種類です。

スマートフォンと組み合わせるメイク支援システムについて、動画でもご紹介しております。詳しくはこちらをご覧ください。(URL: <https://youtu.be/DbguiwHow4E>)

(※1)ExtensionSticker

タッチパネルディスプレイに貼り付けるだけでタッチパネル外からのタッチ入力を転送可能とする技術です(特許出願中)。導電性の縞模様を印刷したシールによって、ユーザがタッチパネルに直接触れずとも、シールをタッチすることで、タッチ入力やスクロール操作のような連続的入力を発生させることができます。

(参考 URL: <https://miyashita.com/projects/extensionsticker/>)

化粧鏡パッケージ

手本となるメイクの支援動画を参考にしながらメイクを行うことのできるパッケージです。

パッケージにセットしたスマートフォンのカメラに映るリアルタイム映像と、メイクの支援動画を同時に映すことができるため、より正確なメイクのサポートができます。

パッケージに設けられた ExtensionSticker を触ることにより、スマートフォンの画面を汚すことなく動画の再生や表示の切り替えといった操作ができます。



透過スクリーンを用いたネイルアートパッケージ

スマートフォンの画面に映るネイルアートをハーフミラーと透過スクリーンを用いて、ユーザの爪に投影できるパッケージです。実際に塗る前に、様々なデザインを試すことができます。

ExtensionSticker によって、裏返しにおかれたスマートフォンであっても操作可能です。



この研究は、2018 年3月5日～7日に開催されたシンポジウム「インタラクション 2018」で「タッチパネルを拡張する紙製インタフェースを搭載したインタラクティブパッケージの開発」と題してインタラクティブ発表(プレミアム発表として採択)を行いました。